

## 編集後記

この秋を期して、本学では創立四十周年を記念する諸行事が、繰上げ挙行されることになっております。

栄ある記念祝典の日をあと一週間のうちに控えて最後の校正を終えたわれわれ編集者一同は、はじめてほっとした気持ちになることができました。

本誌は、第三号まで発行された福岡県女子専門学校紀要の後を承けて、昭和二十五年十一月福岡女子大学文学部教官の

研究発表機関誌として創刊されたものです。第十号から偶数号を国文学科関係者で受持つことになって、今日に至っております。この慶賀すべき秋にあたり、記念特集号の編集企画には、今までにな

い工夫をこらさねばなりませんでした。もし本号が、福岡女子大学創立四十周年記念国語学国文学特集号の名に値するものに成り得ているとするなら、それ

は、ひとえに本特集号のために御協力いただいた学外諸先生の御厚情の賜物と言わねばなりません。本特集号には、本学が大学昇格以来非常勤講師として御来講を頂いた諸先生に御寄稿をお願いしましたところ、それぞれ御多用中にもかかわらず御快諾を得ることができました。斯界の権威者多数の御寄稿を得て、この充実した特集号を世に送り得ることは、この上もない仕合せと一同深謝しております。

本号を記念祝典の日に間に合せて欲しいという要請もあり、そのため御寄稿の諸先生、執筆の各位にあわただしい思いをさせ、掲載の順序も便宜に従うなど、非礼に亘ることの多かったことを、深くお詫びします。

ああ四十年。学園の過去を偲び、将来を思うて、感慨に堪えません。(井手)

昭和三十四年十一月二十日印刷  
昭和三十四年十一月二十五日発行

### 文芸と思想 第十八号

福岡女子大学文学部

編集者 国文学研究室

代表 井手恒雄

福岡市香住ヶ丘二丁目

発行者 福岡女子大学文学部

印刷者 宮原浅美

福岡市長浜町四丁目

印刷所 大宮印刷株式会社

電話 ④ 二五元・三六